

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.132

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	特別支援教育推進事業	担当部署	教育委員会 学校教育課 教育支援室		
総合計画体系				根拠法令 計画など	学校教育法		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成	20 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると					
(小項目)		学校教育			終期	未定	
施策	3	義務教育の充実					
基本事業	4	特別支援教育の充実					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポータルレス鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	特別な支援を必要とする児童・生徒が抱える学習や学校活動上の困難を改善・克服するとともに、子どもの発達や特別支援教育に関する保護者や教職員の理解を向上させる。		事業内容(R1)	①特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターの配置				
実施方針	特別支援教育支援員や特別支援教育サポーターを配置する。		当初からの変更点	補聴援助システム購入のための補正予算 備品購入費128,000円				
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	特別支援教育サポーターの登録人数	25	23	50	50	50	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	特別支援教育支援員の配置人数		20	20	21	21	21	人

事業の実施内容推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターを配置 ②特別支援学級合同校研究会消耗品購入費を支援	①特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターを配置 ②特別支援学級合同校研究会消耗品購入費を支援 ③市内すべての小・中学校の特別支援学級にタブレットを配置	①特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターを配置 ②特別支援学級合同校研究会消耗品購入費を支援	①特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターを配置 ②特別支援学級合同校研究会消耗品購入費を支援	①特別支援教育支援員及び特別支援教育サポーターを配置 ②特別支援学級合同校研究会消耗品購入費を支援

事業費推移(千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	34,941	128	35,069	53,793	53,793

事務事業名	特別支援教育推進事業
-------	------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容		①前年度の配置効果や学校からの要望内容を検討し、特別支援教育支援員を21名配置 ②鳴門教育大学との連携のもと、学生の意向を尊重した上で、特別支援教育サポーター23名を配置 ③特別支援学級合同交流会の作品製作に係る消耗品の購入費を支援。					
	指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	特別支援教育サポーターの登録人数	23	29	50	50	50	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	特別支援教育支援員の配置人数		20	21	21	21	21	人
	目標達成率(実績/目標)			100.0				%
事業費推移 (円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算					
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費		
	計	42,350,460	0	32,742,163	0	32,742,163		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
その他		10,100,000	0	0	0	0		
一般財源	32,250,460	0	32,742,163	0	32,742,163			

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	特別支援教育支援員の配置人数		成果指標に対する所見
	目標	21	人	
	実績	21	人	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
年度途中で退職もあったが、計画通りの人数を配置できた。				

◎今後の方向性(ACTION)

課題	支援員やサポーターを必要とする幼児・児童・生徒の増加等により、学校現場からは支援員の増員を強く求められており、特別支援教育に係る学校現場の人員を確保する必要がある。また、入学後あるいは学年途中でも教育的判断から支援員の配置が必要となった場合に、臨機応変に対応できるような体制の整備が急がれる。 また、特別支援教育に係る学校現場をサポートするため、引き続きサポーターの登録を推進していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	前年度の配置効果や学校からの要望内容を検討し、支援員を配置する。			
	令和3年度	継続実施			